

第1回 山岳トンネルの自動化施工等活用促進に向けた有識者会議 議事要旨

1. 日 時

令和7年5月15日（木） 10:00～11:00

2. 場 所

中央合同庁舎2号館低層棟共用会議室3B

3. 出席者

〈座長〉

真下 英人 一般社団法人日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所長

〈委員〉

奥田 晃久 国土交通省 大臣官房 技術調査課長

建山 和由 立命館大学 総合科学技術研究機構 教授

西川 昌宏 国土交通省 道路局 国道・技術課長

星隈 順一 国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部長

松本 幸司 国立研究開発法人土木研究所 道路技術研究グループ長

森下 博之 国土交通省 大臣官房 参事官（イノベーション）

（敬称略、五十音順）

4. 議事

- （1）トンネル工事の特性
- （2）今回、ご議論いただきたい事項
- （3）今後の進め方

5. 議事要旨

- ・山岳トンネル工事は、熟練技能者の経験・技量に依存している一方、熟練技能者の減少という課題や災害リスクが高い特徴があり、自動施工技術等の普及・促進の必要性について理解した。
- ・試行工事の技術向上提案テーマは、技術提案評価型S I型試行実施要領を踏まえ設定することは問題ないとする。
- ・試行工事の技術向上提案テーマの優先作業項目は、災害リスクや開発・実用している技術数等を踏まえ、「穿孔」、「装薬」、「鋼製支保工」、「ロックボルト工」とすることは問題ないが、今後の状況に応じて変更となる可能性もあるのではないか。
- ・試行工事の技術向上提案の評価は、技術提案評価型S I型試行実施要領を踏まえ、的確性、実現性の観点で設定することは問題ないとする。